

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



交通事故をなくすために

飯館村交通安全教育専門員・交通指導員は次の方たちです。
任期中よりしくをお願いします。

専門員・指導員	氏名	専門員・指導員	氏名
新	交通教育専門員 山岸 安博	再	交通指導員 木幡 富明
再	交通指導員 渡邊 茂興	再	交通指導員 丹野 嘉明
再	交通指導員 木幡 保雄	再	交通指導員 坂本 弘
再	交通指導員 渡邊 芳孝	新	交通指導員 菅野 哲
再	交通指導員 山田 眞由美	新	交通指導員 佐藤 新司
再	交通指導員 林 さい子	※氏名は敬称略	

4/13 飯館村交通指導員 委嘱状交付式

役場第一会議室で交通指導員の委嘱状交付式が行われました。交通安全教育専門員と交通指導員一人ひとりに村長から委嘱状が手渡されたあと、今年度の活動内容の確認が行われました。



▲委嘱状交付の様子

交通安全教育専門員・交通指導員の主な活動内容は、交通事故防止に向けた街頭指導や交通安全教室の実施などです。交通事故をなくすための取り組みがより一層期待されます。専門員の任期は平成25年の3月までの3年間、指導員の任期は平成24年3月までの2年間です。



▲公民館前で行われた出発式の様子

4/10 草野田町組 見まもり隊出発式

草野田町組見まもり隊出発式が公民館を会場に行われました。見まもり隊は、地域内の防犯、防災を目的として町組全戸で組織され、安心して暮らせる安全な地域づくりのために活動しています。出発式では、佐藤義男駐在所長から管内の事件、事故の状況と隊の活動にあたっての留意点、こころがけなどの講話がありました。見守り隊は、4月から3月までの毎月10日、20日、30日（夏休み期間中は毎日）の夕方に地域を巡回し見守りを行っています。

エコハウス IN 飯館村

「まideaな家」通信

まideaな暮らし普及センター『まideaな家』は、環境省のエコハウス事業全国20ヶ所のうちのひとつとして建設されました。この事業の目的は「家庭から排出されるCO₂量を削減する」ためにモデルとなる住宅をつくり、その工法や設備・省エネな暮らしなどを一般の住宅や家庭に普及させることです。今月から、エコハウスの仕組みや環境活動への取り組みについて紹介していきますのでご期待ください。

◆◆◆エコのあれこれ◆◆◆

家庭で消費される冷暖房のエネルギーは、一軒ずつではわずかですが、軒数が集まれば膨大な量になります。そこで、エネルギー漏れのない良質な断熱性能をもつ住宅を造るために「次世代省エネルギー基準」が定められました。これによって、今後エネルギー消費量を20%低減させることが可能ともなわれています。省エネルギー住宅が増えると、結果的に地球温暖化を防ぐことにつながるのです。

●次世代省エネルギー基準の家を建てるメリット

快適さ

しっかりと断熱気密化された住宅では、どの部屋でも同じような室温になり、床と天井付近の温度差も小さくなります。つまり、家中がいつでも、どこでも快適です。



省エネルギー

世界水準の省エネルギー率を実現できますので、今までの暖房費と同じくらいの負担で全室暖房が可能になります。



健康的

断熱気密化された住宅は、温度ストレスのない快適な室内環境が得られるほか、計画換気によって室内の空気を常に清浄に保つことができ、健康的な住まいに変身します。



耐久性



次世代省エネ・耐震性・バリアフリー・耐久性のいずれが2以上の基準に適合する住宅を建てると、住宅金融支援機構の長期固定金利型住宅ローン「フラット35」Sの融資金利優遇を受けることが可能です。

●飯館村で次世代省エネ基準の断熱性能を満たすには

一般的に断熱材としてよく使われている住宅用グラスウール10K相当の場合

部位	断熱材の厚み	
屋根又は屋根	230mm	
天井	200mm	
壁	110mm	
床	外気に接する部分	260mm
	その他の部分	165mm

(充填断熱工法の場合)

※断熱材の種類によって厚みが異なります。
※開口部の断熱性能にも基準があります。

Copyright (C) 2003 (財) 建築環境・省エネルギー機構 (BEC)

◆◆◆「食べられる庭をつくらう」活動報告◆◆◆

5月22日(土) 気持ちの良い五月晴れの中、サポーターの方々にお手伝いいただき、キッチンガーデンとキーホールガーデンに苗を植えました。この畑は普通の家庭菜園と異なり、野菜・ベリー類・花などを組み合わせた「混植菜園」になっています。いろいろな種類を混植することにより自然に近い環境が作られるため、それぞれの生育が促進され、農薬を使わなくても害虫がつきにくく病気にもなりにくいという利点があります。

さらに、枯れ草を土の上に敷き詰めて「草マルチ」を行いました。これは土の乾燥を防ぐだけでなく下草の繁殖を抑え、ミミスズやクモなどのエサや巣となり、やがて自然に還り堆肥になります。

今後も植物の生育状況の観察会や、収穫を楽しむ環境学習などを行う予定です。ぜひお子さんと一緒にご参加ください。



▲まideaな家前庭「混植菜園」